

元気なまちかど

No.1 心を合わせた一糸乱れぬ演舞

江州音頭やよきこい節を現代風にアレンジした曲で踊りを競う「ござれGO-SHU」が10月2日、JACこうか駐車場をメイン会場に水口町内5会場で開催されました。

18回目を迎える今年は、県内外から38チーム、約3千人が参加し、各チーム趣向を凝らした衣装で一糸乱れぬ創作演舞を披露しました。
ブランドフィナーレでは、出演者全員がステージに集合し、会場全体が一体となった熱気あふれる踊りに観客は魅了されていました。



▲ござれ大賞「百華夢想」の演舞

No.2 宿場町の情緒を感じる手作りイベント

2016あいの土山宿場まつり

2016あいの土山宿場まつりが10月2日、東海道伝馬館前広場を主会場に行われ、地域の方などたくさんの方でにぎわいました。

まつりでは、「鈴鹿馬子唄」を代表とする民謡の披露や「東海道わらじ飛ばし大会」、「あいの土山宿場かるた大会」など東海道49番目の宿場町の情緒を感じるイベントが催されました。

街道筋には昔の道具などが展示され参加者はスタンパラリーで巡りながら秋の東海道を散策していました。



▲ステージで民謡を披露

No.3 秋の夜長を手づくり市で

ほのぼのナイト

大野小学校の敷地内にある同窓会館で10月9日、手づくり市「ほのぼのナイト」が行われました。

子育て中のお母さんグループ「ほのぼのマルシェ」が定期的に雑貨などを販売する企画を初めて夜に開催したもので、今回はごはんやスープ、ケーキなど飲食物を中心に16のブースが並びました。

ギターの弾き語りも行われ、訪れた人たちは、畳の上でくつろぎながら食事を楽しんだり、店主との交流を深めたりして、秋の夜長をゆっくり過ごしていました。



▲飲食ブースがずらりと並んだ会場



▲実った稲穂を手に笑顔の子どもたち

No.4

子どもたちも稲刈りに汗

うしかい田んぼアート

水口町牛飼地先の縦約100メートル、幅約30メートルの水田に描かれた「にんじやえもん」の稲刈り体験が10月8日行われ、120人が参加しました。

春の田植えから信楽高原鐵道の車窓の風景を楽しませてくれた田んぼアート。収穫時期になり、実った稲穂を参加者で手刈りしました。

稲刈り後にいただく地元産のおにぎりを楽しみに子どもたちも汗を流しながら稲刈りに取り組んでいました。

来年は、どんな田んぼアートが描かれるか楽しみです。

であいこうか

DEAI KOKA

朝宮の魅力を感じ

一般社団法人 お茶芽Dream朝宮

代表 植西恭子さん

お茶芽 Dream 朝宮 HP otyamedream.com

「朝宮茶」の魅力を発信しようと、地域の女性たちが産地や文化についての講座を開催する「朝宮お茶芽大学校」。今回は、その運営を行う「お茶芽 Dream 朝宮」の代表である植西さんにお話を伺いました。

INTERVIEW

▶朝宮お茶芽大学校の活動は?

今までは朝宮地域から外へ出て朝宮茶のPR活動を行ってききましたが、大学校では朝宮地域をキャンパスに見立て、茶や産地の文化を来訪者に体感していただく講座を月に1回のペースで開催します。今後はお茶の五大銘茶と陶器の六古窯が重なる信楽の特色を生かした講座にも取り組んでいきます。



▲お茶摘み体験

▶今までの朝宮茶のPR活動との違いは?

例えば、お茶の花を摘んで、その花を紅茶に入れて飲んでもらうなど実際に茶畑に入って体感してもらうことが今までは違いました。お茶を購入し味わっていただくだけでなく、茶畑のある自然を目で見ても肌で感じ、茶葉の香りを楽しむなどお茶を五感で体感してもらうことを大切にしています。朝宮ファンを獲得するために、実際に朝宮に来て体験していただくことを第一に考えています。

▶今後の運営展開は?

9月1日に組織を法人化し、社会的な責任を持って、自分たちの利益だけでなく地域に還元できるよう、まずは1年間継続的に講座を開催できることをめざします。そのためには、講師や地域の方々など朝宮サポーターの手助けが必要となります。人とのつながりを大切に、地域の文化と美しい自然を次世代へ継承できるよう運営を軌道にのせていきたいです。



▲茶畑でお茶芽Dream朝宮メンバー

今後の講座予定

11月13日 お茶の実拾いと朝宮の歴史をたどる
12月 4日 手打ち茶そばと茶歌舞伎